

149 なかせんどういちりづかあと
中山道一里塚跡



指定 市史跡 平成9年2月20日
所在地 甲
所有者 山本 武広



一里ごとに道の両側に塚が築かれたが、現存の塚は、北側の塚である。

慶長7年、徳川家康は秀忠に、江戸日本橋を起点に東海道・東山道・北陸道に一里ごと道の両脇へ塚を築き、木を植えさせた。

御馬寄（塚田）の一里塚は起点から40番目である。ここから東は平塚の一里塚で、西は望月瓜生坂一里塚である。